

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	人工膝関節置換術の術後疼痛に対するアセトアミノフェン静注薬定時投与の有効性の研究。～後ろ向き研究～		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後～2020年3月31日		
③ 対象患者	④の対象期間中に山口大学医学部附属病院で人工関節置換術を受けた患者さんを対象としています。		
④ 対象期間	2016年1月1日～2018年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	整形外科		
⑦ 研究責任者	氏名	関万成	所属 リハビリテーション部(整形外科)
⑧ 使用する情報等	手術後の疼痛評価、鎮痛薬の使用の有無、術後の満足度の評価を使用します。また術後の合併症の評価として、下肢深部静脈血栓の有無、術後の血液検査(D-Dimer値、AST、ALT、 γ GTP、ALP、等)を使用します。また術前後に評価した膝関節可動域、10m歩行、タイムアップアンドゴー、四頭筋筋力を使用します。		
⑨ 研究の概要	人工膝関節置換術は人工股関節置換術と比較して術後の満足度が低いとされており、その原因の一つとして術後の痛みがあります。当院では術後疼痛対策として、アセトアミノフェン静注液の投与を行っています。アセトアセトアミノフェンを使用した患者さんと使用していない患者さんで人工膝関節置換術手術の直後からから退院時までの疼痛評価と術後24時間および48時間、3週間での術後の満足度とを比べることで、鎮痛効果の改善や満足度の向上、追加鎮痛薬の削減が得られる可能性を検討します。また、鎮痛効果による早期離床やリハビリ、下肢深部静脈血栓に与える影響を評価します。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年4月10日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	本研究は整形外科講座の奨学寄付金を用いて実施します。		
⑯ 利益相反	本研究に関連する企業からの寄付金の受け入れはありません。		

⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院リハビリテーション部(整形外科) 関万成		
	電話	0836-22-2266	電話 電話 0836-22-2267